トゲミノイヌチシャ

絶滅危惧IA

科名	ムラサキ
学名	Cordia kanehirae Hayata
別名	

区分	木本類
分布	西表島、尖閣諸島、台湾、フィリピン
葉の形	卵状被針形
葉の縁	鋸歯
葉の先	鋭尖形

葉の種類	単葉
葉の付方	互生
葉の基部	円形
実の種類	液果
花・萼色	白色

説明

島の低地に生える落葉小高木です。葉は卵状被針形で、長さ 9-15 ㎝、幅2.5-8 ㎝、両面に粗毛があります。枝先の集散花序に多数の花を蜜に付け、花冠は白色の筒状で、先は5裂します。実は白色半透明の液果で、楕円形の長さ 13 ㎜、幅8 ㎜、種子は 1個から 2個の斜め楕円形で、斜めの大きな針状突起が数個あります。

八重山・尖閣諸島が分布域の北限であり絶滅が危惧される植物です。